

社会資本総合整備計画（防災・安全） 事後評価書

平成 28 年 5 月 27 日

計画の名称	船橋市における下水道の首都直下地震対策（防災・安全）																								
計画の期間	平成23年度 - 平成27年度（5年間）			交付対象	船橋市																				
計画の目標	下水道の重要施設の耐震化を重点的に実施することで、首都直下地震時の二次災害発生を抑制し、市民の命と暮らしを守る。																								
計画の成果目標（定量的指標）	総合地震対策計画に位置つけた、緊急輸送路・軌道下の管渠の耐震化路線を6路線（H23）から15路線（H27）に増加させる。 総合地震対策計画に位置つけた、ポンプ場の耐震化を完了させる（1施設）																								
定量的指標の定義及び算定式	<table border="1"> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">定量的指標の現況値及び目標値</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> <tr> <th>当初現況値 （H23当初）</th> <th>中間目標値 （H25末）</th> <th>最終目標値 （H27末）</th> </tr> <tr> <td>総合地震対策計画に位置つけた緊急輸送路・軌道下の管渠の耐震化 耐震化された緊急輸送路・軌道数（路線）/ 総合地震対策計画に位置つけた耐震化すべき管渠が埋設された緊急輸送路・軌道数（15路線）</td> <td>40%</td> <td>80%</td> <td>100%</td> <td></td> </tr> <tr> <td>総合地震対策計画に位置つけたポンプ場の耐震化 耐震化されたポンプ場数（施設）/ 総合地震対策計画に位置つけた耐震化すべきポンプ場数（1施設）</td> <td>0%</td> <td>0%</td> <td>100%</td> <td></td> </tr> </table>								定量的指標の現況値及び目標値			備考	当初現況値 （H23当初）	中間目標値 （H25末）	最終目標値 （H27末）	総合地震対策計画に位置つけた緊急輸送路・軌道下の管渠の耐震化 耐震化された緊急輸送路・軌道数（路線）/ 総合地震対策計画に位置つけた耐震化すべき管渠が埋設された緊急輸送路・軌道数（15路線）	40%	80%	100%		総合地震対策計画に位置つけたポンプ場の耐震化 耐震化されたポンプ場数（施設）/ 総合地震対策計画に位置つけた耐震化すべきポンプ場数（1施設）	0%	0%	100%	
	定量的指標の現況値及び目標値			備考																					
	当初現況値 （H23当初）	中間目標値 （H25末）	最終目標値 （H27末）																						
総合地震対策計画に位置つけた緊急輸送路・軌道下の管渠の耐震化 耐震化された緊急輸送路・軌道数（路線）/ 総合地震対策計画に位置つけた耐震化すべき管渠が埋設された緊急輸送路・軌道数（15路線）	40%	80%	100%																						
総合地震対策計画に位置つけたポンプ場の耐震化 耐震化されたポンプ場数（施設）/ 総合地震対策計画に位置つけた耐震化すべきポンプ場数（1施設）	0%	0%	100%																						
全体事業費	合計 （A + B + C）	519百万円	A	489百万円	B	0百万円	C	30百万円	効果促進事業費の割合 C / （A + B + C）	5.8%															

事後評価（中間評価）

事後評価の実施体制、実施時期	事後評価の実施時期
事後評価の実施体制	平成 2 8 年 5 月
社会資本総合整備計画を策定した船橋市下水道部により評価を実施。	公表の方法
	船橋市ホームページで公表

1. 交付対象事業の進捗状況

交付対象事業																	
A1 下水道事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	事業及び施設種別	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	備考
											H23	H24	H25	H26	H27		
No.4全処理区																	
A1-4-1	下水道	一般	船橋市	直接	-	汚水	改築	緊急輸送路・軌道下管渠の耐震対策事業	管更生、人孔対策	船橋市						190	総合地震
A1-4-7	下水道	一般	船橋市	直接	-	雨水	改築	ポンプ場の耐震対策事業	補強工	船橋市						266	総合地震
小計（全処理区）												456					
合計												456					
B 関連社会資本整備事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容 （延長・面積等）	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	備考	
										H23	H24	H25	H26	H27			
合計													0				
C 効果促進事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	備考	
										H23	H24	H25	H26	H27			
No.4全処理区																	
C-4-4	下水道	一般	船橋市	直接	-	新設	業務継続計画策定	下水道BCP策定	船橋市						0	総合地震	
合計												0					
番号	一体的に実施することにより期待される効果											備考					
C-4-4	下水道の総合的な地震対策計画を策定し、大規模地震時の下水道機能を確保する。																

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況

定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	緊急輸送路に埋設されている管渠の耐震化により、大規模地震災害時における「緊急輸送路の通行」の維持および二次災害の防止を図り、市民の安全性が向上した。 ポンプ場の耐震化により、大規模地震災害時における揚水機能を維持し、浸水被害の危険性を低減した。			
定量的指標の達成状況	指標 (総合地震対策計画に位置つけた管渠の耐震対策実施の割合)	最終目標値	100 %	目標値と実績値に差が出た要因 ・下水道管渠占用箇所の施設管理者との協議に時間を要したため。
		最終実績値	87 %	
	指標 (総合地震対策計画に位置つけたポンプ場の耐震対策実施の割合)	最終目標値	100 %	目標値と実績値に差が出た要因
		最終実績値	100 %	
定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 (必要に応じて記述)	<ul style="list-style-type: none"> 管更生による耐震化の実施により、耐震性の確保に加えて延命化を図ることができた管渠もあった。 下水道施設の耐震化の実施により、大規模地震災害時における人孔浮上や陥没等の下水道施設に起因する交通事故を抑制し、多くの人命を保護することができるようになった。 			

3. 特記事項（今後の方針等）

・船橋市公共下水道総合地震対策計画に準じて、引き続き、次の整備計画においても計画的に下水道施設の耐震化に取り組んでいく。

